

2020年4月1日

各 位

会 社 名 株式会社みずほフィナンシャルグループ
代 表 者 名 執行役社長 坂井 辰史
本店所在地 東京都千代田区大手町一丁目5番5号
コード番号 8411（東証第一部）

2020年3月期決算における有価証券評価損の計上について

当社は、2020年3月期の連結決算において、国内連結子会社である株式会社みずほ銀行、みずほ信託銀行株式会社及びみずほ証券株式会社が保有している市場価格のある「その他有価証券」に区分される有価証券のうち、時価が著しく下落しているものについて、減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたので、お知らせいたします。

なお、2020年3月期の業績予想および期末配当予想につきましては、変更ございません。

2020年3月期第4四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）の有価証券評価損の総額 （=A-B）	329億円
(A) 2020年3月期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の有価証券評価損の総額	394億円
(B) 直前四半期（2020年3月期第3四半期）累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）の有価証券評価損の総額	65億円

以 上

(参考情報) 国内連結子会社の概要

名称	所在地	代表者の役職・氏名	事業内容	資本金
株式会社 みずほ銀行	東京都千代田区大手町 一丁目5番5号	取締役頭取 藤原 弘治	銀行業務	1,404,065百万円
みずほ信託銀行 株式会社	東京都中央区八重洲 一丁目2番1号	取締役社長 梅田 圭	信託業務 銀行業務	247,369百万円
みずほ証券 株式会社	東京都千代田区大手町 一丁目5番1号	取締役社長 飯田 浩一	証券業務	125,167百万円

本資料には、将来の業績及び計画等に関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、かかる記述及び仮定は将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。なお、上記に記載の事実が当社の米国会計基準による連結財務情報に与える影響の程度は未定です。

また、事業戦略や業績など、将来の見通しに関する事項はその時点での当社の認識を反映しており、一定のリスクや不確実性などが含まれております。これらのリスクや不確実性の原因としては、与信関係費用の増加、株価下落、金利の変動、外国為替相場の変動、法令違反、事務・システムリスク、日本における経済状況の悪化その他様々な要因が挙げられます。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。

当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、有価証券報告書、統合報告書(ディスクロージャー誌)等の本邦開示書類や当社が米国証券取引委員会に提出した Form 20-F 年次報告書等の米国開示書類など、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものを参照ください。

当社は、業績予想の修正等将来の見通しの変更に関する公表については、東京証券取引所の定める適時開示規則等に基づいて実施いたします。従って、最新の予想や将来の見通しを常に改定する訳ではなく、またその責任も有しません。

本件に関するお問い合わせ先
みずほフィナンシャルグループ
コーポレート・コミュニケーション部 広報室 03-5224-2026